

図書館通信

市貝町立図書館
〒321-3423
栃木県芳賀郡市貝町 市塙147
TEL 0285-68-4380
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと ブログはこちら



8月の催しもの

●図書館で一緒に遊ばしよ 10:30～

土曜日は図書館でスタッフと一緒に遊ぼう

- ♥ 1日 涼しい音さがそ〜♪(先着10名)
- ◆ 8日 いっとくんの小物入れを作ろう♪
- ♣ 15日 プチプチ使ってスケルトンミニバッグ作り (先着10名)
- ♠ 22日 牛乳パックでうちわを作ろう♥
- ♥ 29日 とちおとめヘンシ〜ん!?

●ダンボの会のおはなし会

30日(日)10:30～11:30 おはなしコーナー
絵本の読み聞かせ、手あそび、おりがみ等

ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館『いっとくん』
@ittokun_ichikai



◎市貝の花火の日、8/29(土)は

午後3時に閉館するよ!

迷惑かけちゃうけど、みんな花火を楽しんでね♥
市貝図書館の花火をお見逃しなく♪

◎GETできた?

6/7に開催した古本リサイクル市♪朝から並んでくれてありがと〜欲しい本はGETできたかな?
次回は1/23の図書館まつりの時に♥
おたのしみに〜

〜夏休みは図書館へ!安・近・短&楽しく♥学ぶ♣ 参加者募集中〜

◆申込・問合せ 市貝図書館 68-4380◆ (★印は要申込)

●「縄文のくらし」関連イベント

- ★ 集まれちびっこ考古学者!
8/9(日) 13:00～14:00
講師 中村信博 先生(日本考古学協会会員)
- ★ 縄文時代ってなんなの?
8/9(日) 14:00～15:30
講師 馬籠和哉 先生(栃木県立博物館 学芸員)
- ★ 火おこし体験
講師 亀田幸久 先生(栃木県埋蔵文化財センター)
8/23(日)14:00～15:30

★「土曜日イベント工作に再チャレンジ!!」

～夏休み工作を作っちゃおう～
8/2(日)10:30～11:30
2階企画研修室 小学生15名

★サッチャンバスで行く 食べ放題!

ブルーベリー持ち
8/18(火) 8時出発
駒込 永山農園
参加費100円(保険代他) 20名



図書館カレンダー

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29※
30	31	※29日市貝花火大会開催の 為PM3:00閉館				

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

(■…休館日)



夏休み宿題応援コーナー



待ちに待った夏休みですね！

図書館では夏休みの宿題に使える本を集め、宿題応援コーナーを設けました。まだ何も決めていないという方も、本を手にとってみてはいかがでしょうか。

計画的に宿題を進めましょう。

コーナーには読書感想文の書き方・自由研究・工作の本などがあります。また、館内のパソコンでインターネット検索ができますので調べ物に困ったときなど、ご利用ください。

宿題に悩んだらぜひ図書館にお越しください。素敵なアイデアが生まれるかもしれません。



第153回芥川賞・直木賞受賞作

先月16日、平成27年度上半期第153回芥川賞・直木賞の受賞作品が決定しました。史上初のお笑い芸人の受賞とあいまって、本屋業界でも大賑わい。今後も芸人の仕事を第一に作品作りに励むのだとか…。

*「芥川賞」…「純文学」の新人に与えられる文学賞。



「火花」
又吉直樹 // 著 (文学界2月号)



「スクラップ・アンド・ビルド」
羽田圭介 // 著
(文学界3月号)

*「直木賞」…無名・新人及び中堅作家による「大衆小説作品」に与えられる文学賞。



「流」
東山彰良 // 著 (講談社)

学生のみならずもぜひ、夏休みを利用して読んでみてください。



火曜日は新刊の日

◇新刊登録のお仕事紹介◇



図書館流通センターへ発注した本が、届けられる日は毎週火曜日となっています。児童書・一般書に分け、各々ブックトラックに並べます。本のデータをダウンロードした後は、1冊ずつ手に取り、チェックすることから新刊登録のスタートです。

図書館所蔵の証であるふくろう印や日付印を押していきます。書架に並べられた時に、解りやすいように、シールを貼ったり、所蔵変更があるものは、修正していきます。



本の帯は、ひと目でわかるように、ボードに貼り付けます。最後に資料を利用可能な状態に変え、新刊コーナーに並べて完了です。

館長のひとりごと



先日、ひよんなことから東京・江戸木箸「大黒屋」の武田社長とお会いすることができ、感動したことがあったので、少し書いてみます。江戸木箸は、大正初期より江戸職人の手によって、「木」そのものの良さをいかし、その人一人ひとりに合ったお箸を使ってもらおうという願いのもとに創っている登録済みのオリジナルの品です。靴や帽子などと同じように、自分に合った箸を使うことが大切であることを得々と熱弁をふるって話され、とても印象に残りました。握力がなくなった人の箸、六角形やひょうたん型の箸など、太さ・長さ・重さにより自分に合ったものの大切さを説く話が永遠に続く…。箸は毎日お世話になる道具です。ぬくもりのある木箸で美味しいものを味わって食べる「箸はコメをつまむ命の橋渡し」という言葉がジーンと心に沁みました。今度、東京・東向島の大黒屋さんまで買いに行くことを約束し、サヨナラをしました。
※はさむ、つまむ、ほぐす、切る、裂く、のせる、剥がす、混ぜる、分ける、押える、運ぶ…と多機能な箸。